

レンタル品着地マット積込

着地マットの積込について

- ・種目ごとに積込
- ・種目の中の寸法の大きい物から積み上げる。
- ・種目の中で組み合わせにより2m×3mにできる場合はその組み合わせで積む。
- ・同一種目で複数レンタルする場合は、それぞれを積込み、同じ種目であっても絶対に混在させない。
- ・目印等の為に、表面(側面含む)に絶対にテープ等を貼らない。
マジックなどで書き込みを行わない。

ジョイントテープ内訳

種目	内訳	総本数
あん馬	L:1220 × 2枚、L:700 × 2枚	4本
跳馬	L:2500 × 3本	3本
平行棒	L:2410 × 2本、L:2000 × 2本、L:1130 × 4本、 L:1000 × 1本、L:800 × 2本	11本
鉄棒	L:3000 × 6本	6本
段違い平行棒	L:2000 × 4本	4本
平均台	L:4950 × 1本、L:4000 × 2本、L:1000 × 1本 L:950 × 4本	8本

- ・ジョイントテープは裏面に種目が記載されていますので、巻き取りの際は必ず種目が最後に見えるように巻いてください。
- ・また、オーバーマットの破損に繋がるため、ジョイントテープでの固定は厳禁です。

あん馬

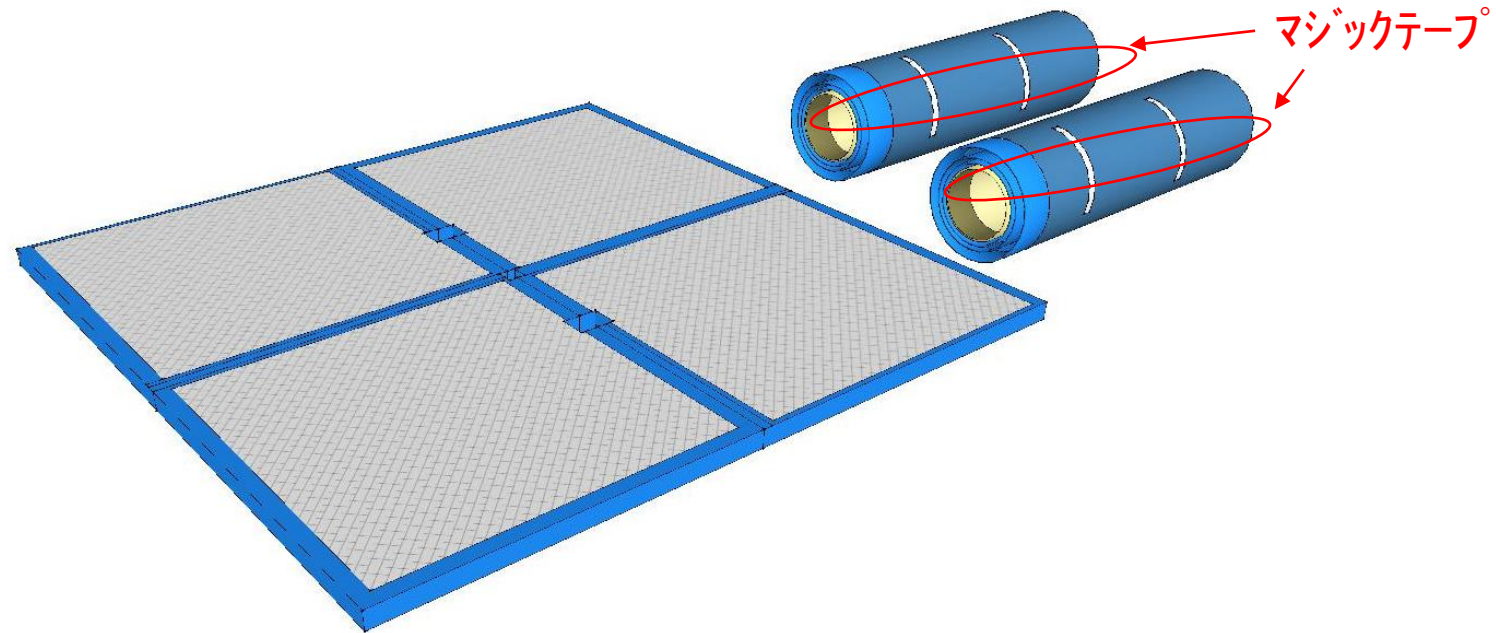
あん馬のオーバーマット2本を巻き取り、**付属のマジックテープで固定**します。

この状態にしたマットをパレットに積込していきます。

あん馬の場合、単体でのレンタルでは特に積み方はありません。

複数種目ある場合は、概ね上に乗せることが可能なパレットに乗せて運搬します。

あん馬



つり輪

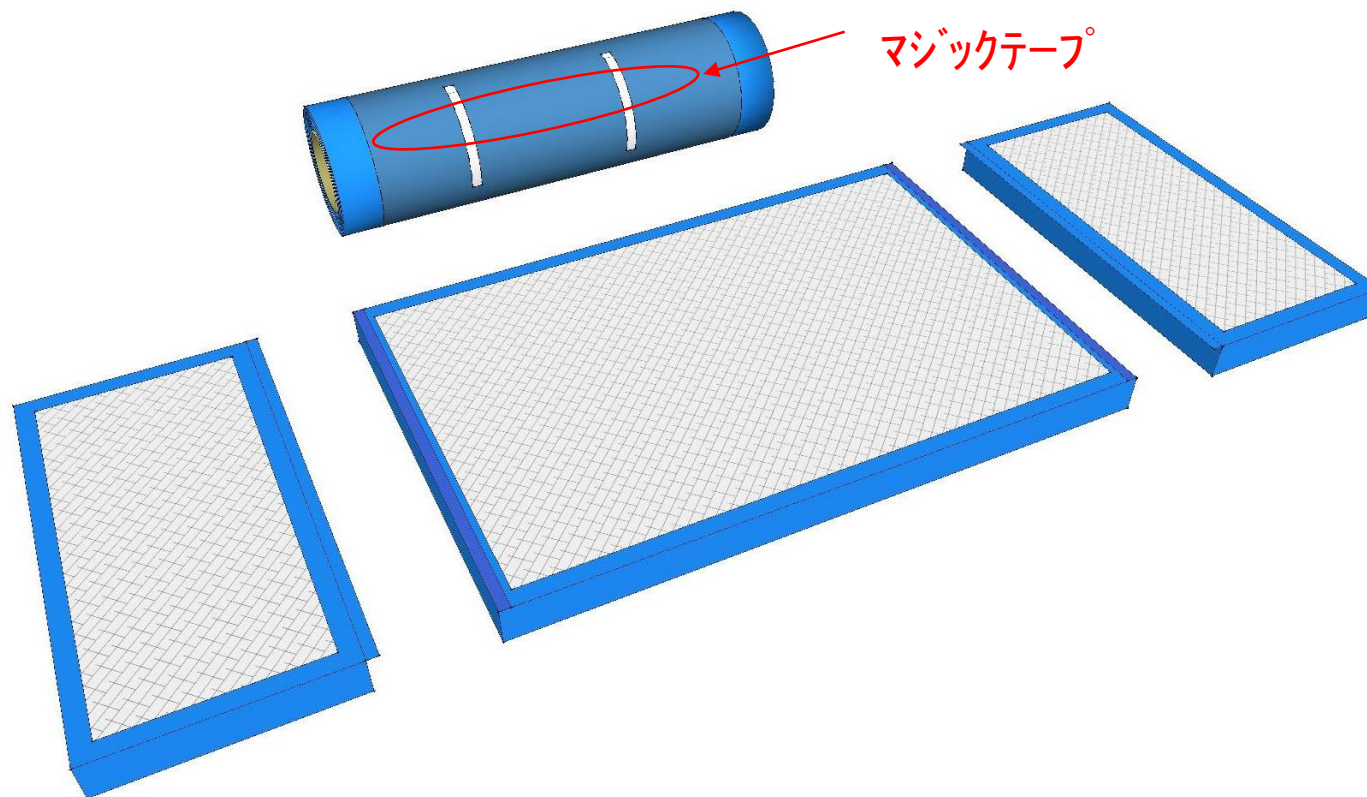
つり輪のオーバーマット1本を巻き取り、**付属のマジックテープで固定**します。

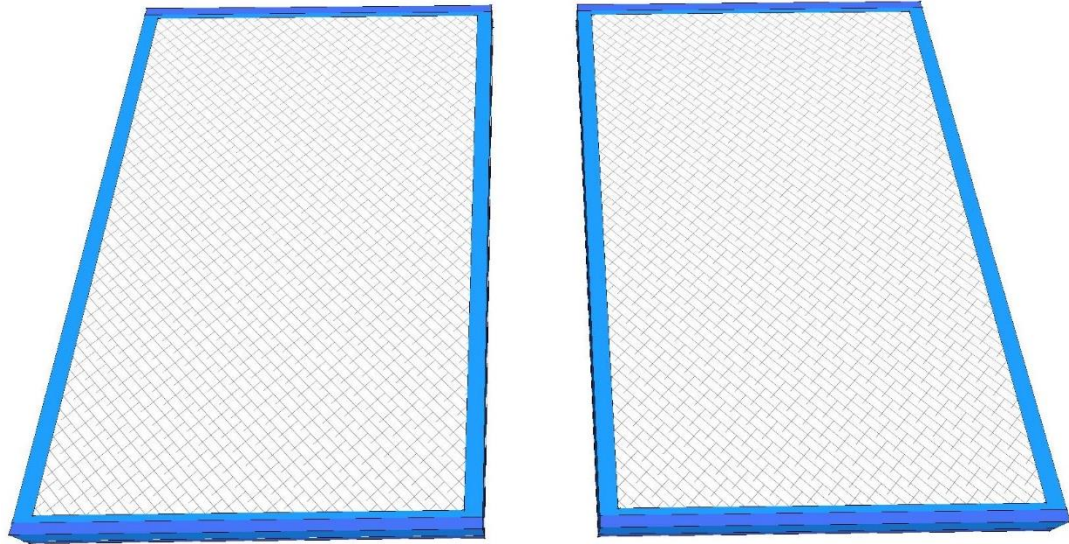
この状態にしたマットをパレットに積込していきます。

つり輪の場合、単体でのレンタルでは特に積み方はありません。

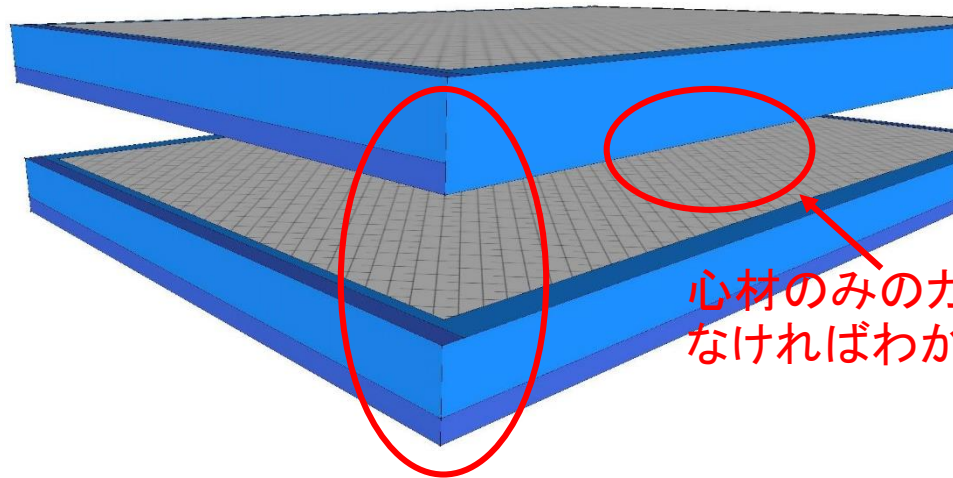
複数種目ある場合は、概ね上に乗せることが可能なパレットに乗せて運搬します。

平行棒と同時の場合、見た目は同じでも、一部違う部分がありますので、確認の上必ず、種目ごとに積込してください。





平行棒とつり輪のアンダーマットの違いは上から見ただけでは区別が付きません。



心材のみのカットの為、触らなければわかりません。

違いは、平行棒の場合、長手の側面に、マジックテープは片側しかついていません。他の違いは、カバーに切り込みはありませんが、平行棒は心材がカットしてあります。

※つり輪は両側になります。

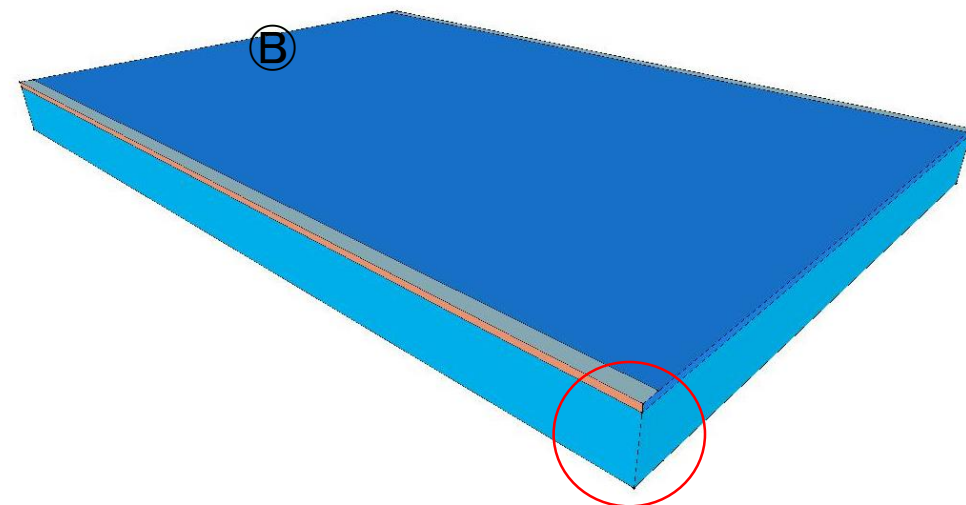
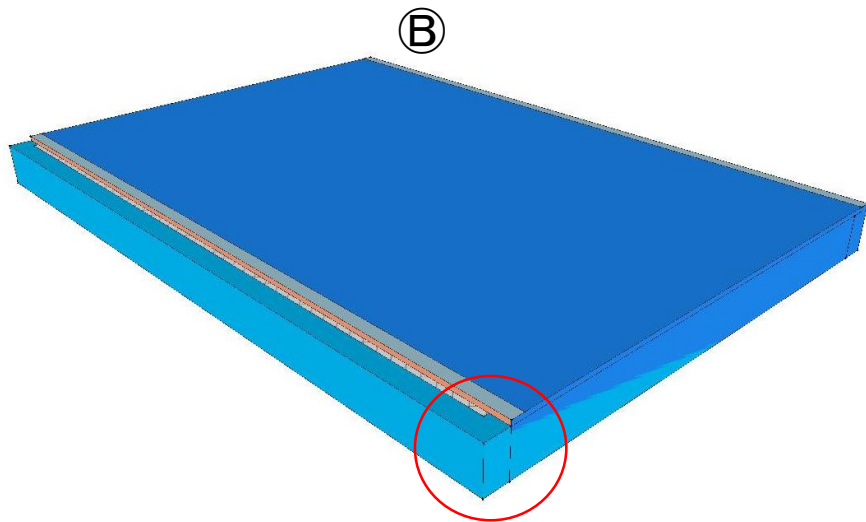
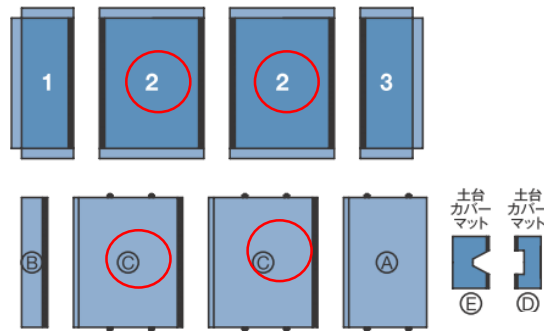
理由として、このマジックテープはオーバーマットのスカートを固定するためのもので、平行棒には片側しかスカートがないためです。

このため、つり輪に平行棒を使用すると、片側のオーバーマットが固定されない為、スカートが浮いてしまいます。

※両端の2000×1000のアンダーも同様です。

跳馬着地マット

オーバットは取付けたままの収納となります。
この作業は右の赤丸の収納方法です。



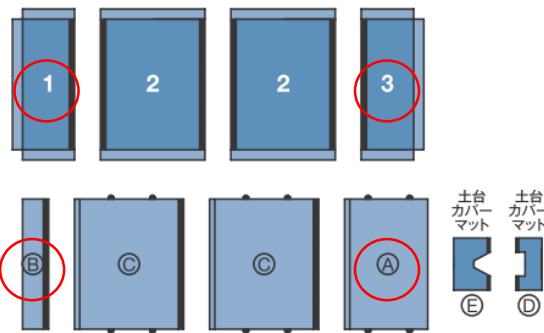
※上記○部分のように、割付の都合上、解体した着地マットはオーバーマットとアンダーマットが100mmずれています。

※パレットに積込前に必ず、上記のようにオーバーマットをずらしてアンダーマットと角を合わせてから収納してください。

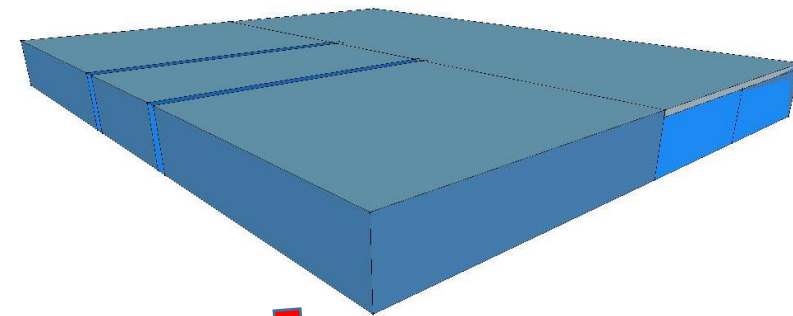
跳馬着地マット収納時の注意点

跳馬2-2

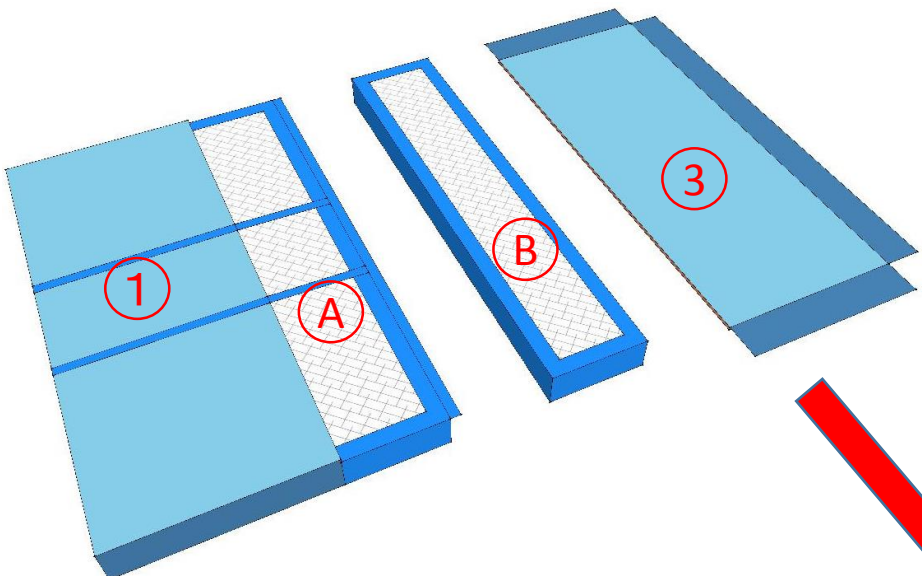
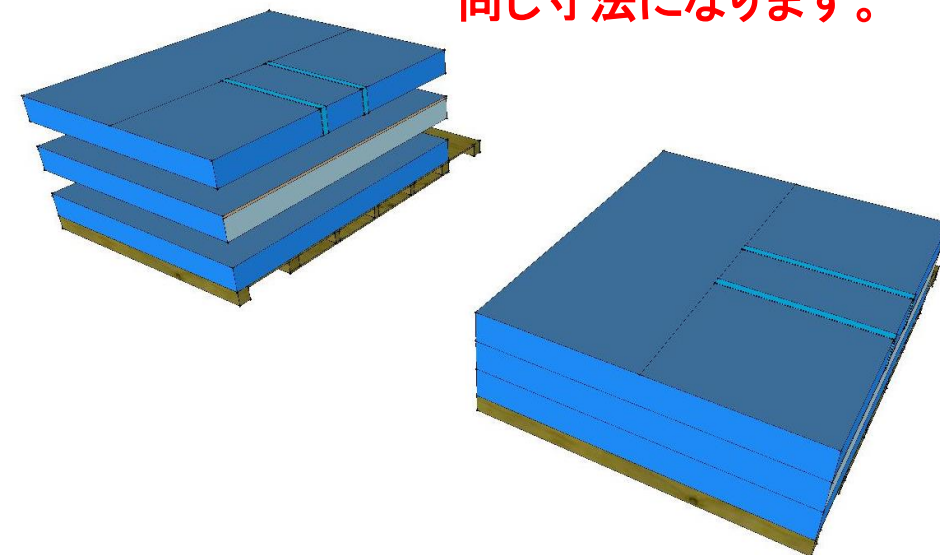
この作業は右の赤丸の収納方法です。



次に3のオーバーマットを被せます。

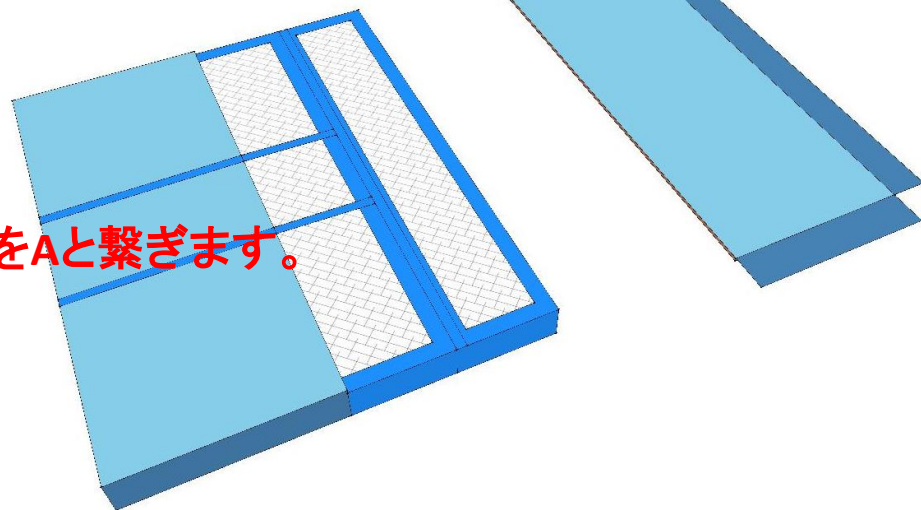


この作業により3枚が同じ寸法になります。

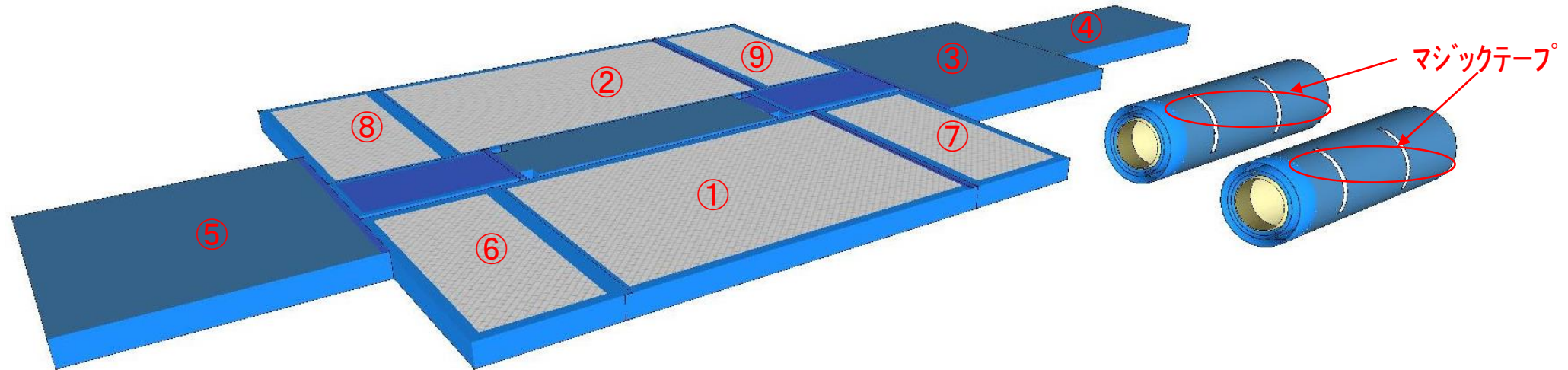


着地マット解体すると上のようになります。

まず、BをAと繋ぎます。

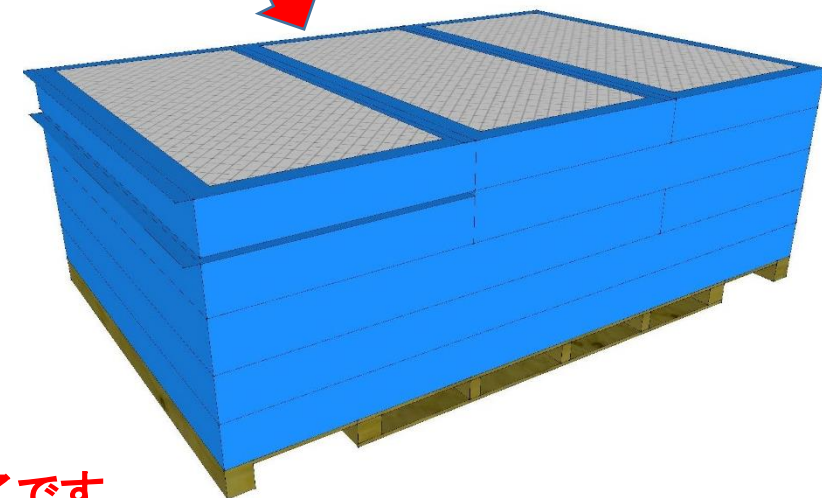
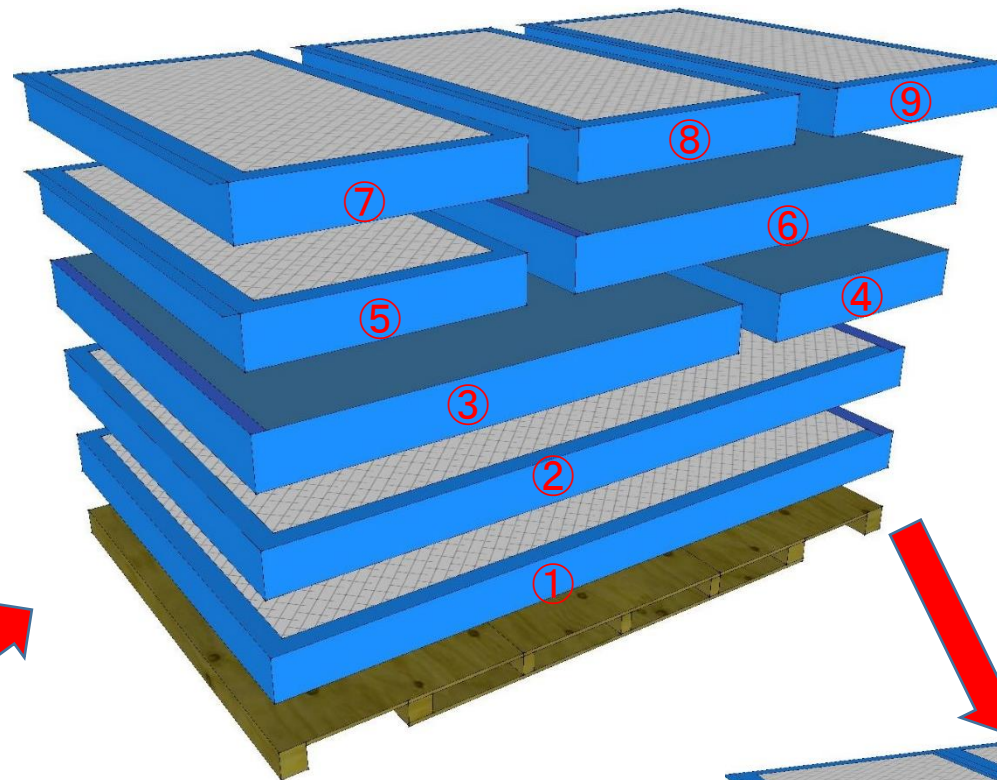
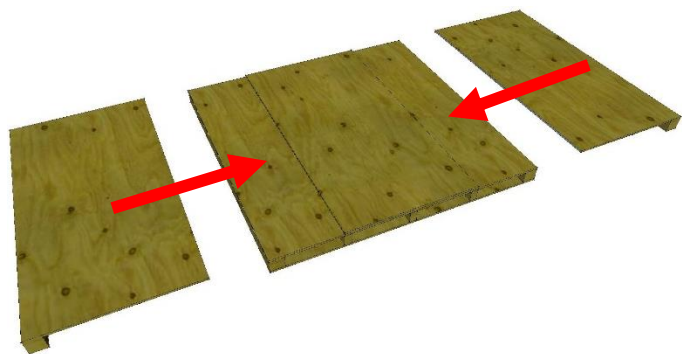


平行棒両側のオーバーマット2本を巻き取り、**付属のマジックテープで固定**します。
 この状態にしたマットをパレットに積込していきます。
 パレットに積込順番は、まず①~⑨までを積み込みます。



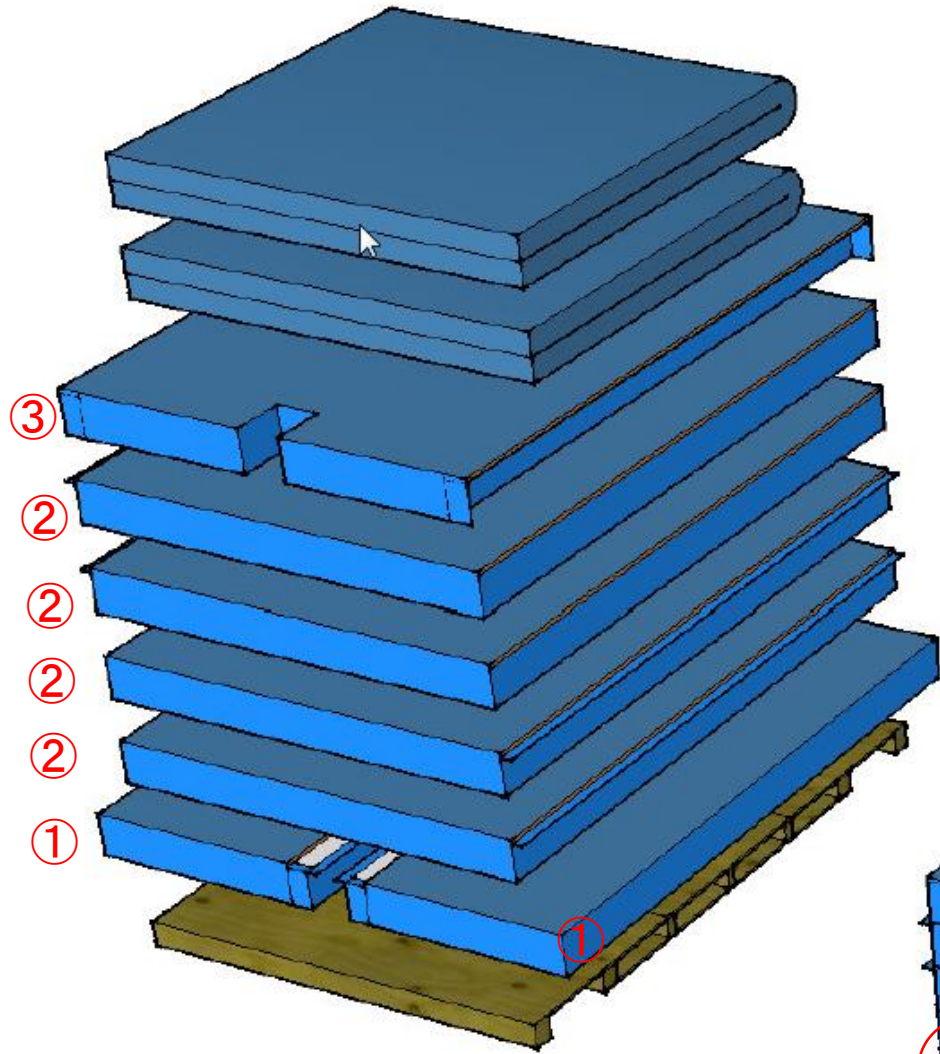
パレットを組立てます。

平行棒2-2

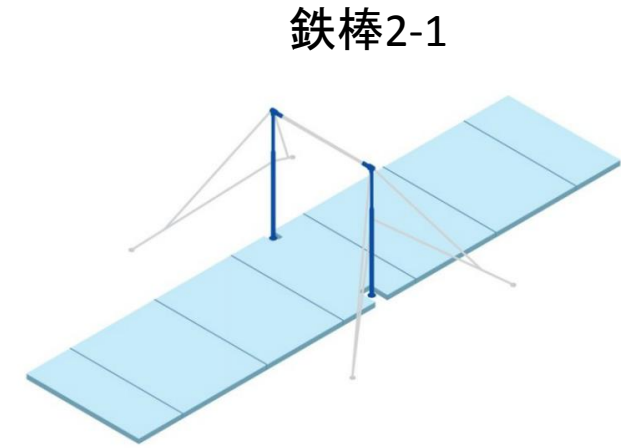
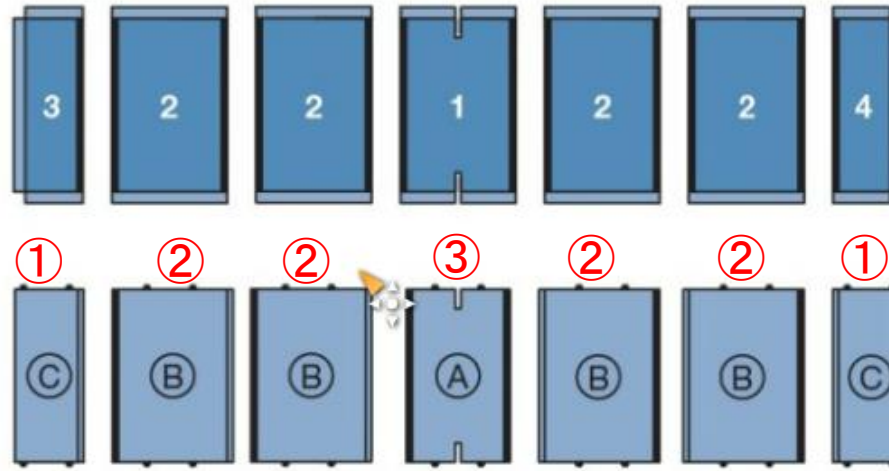


平行棒単体でレンタルする場合は、この上に中央マットを載せて完了です。
体操器具一式の場合、この上につり輪、あん馬の収納したのちに、中央
マットを最後に上に載せます。

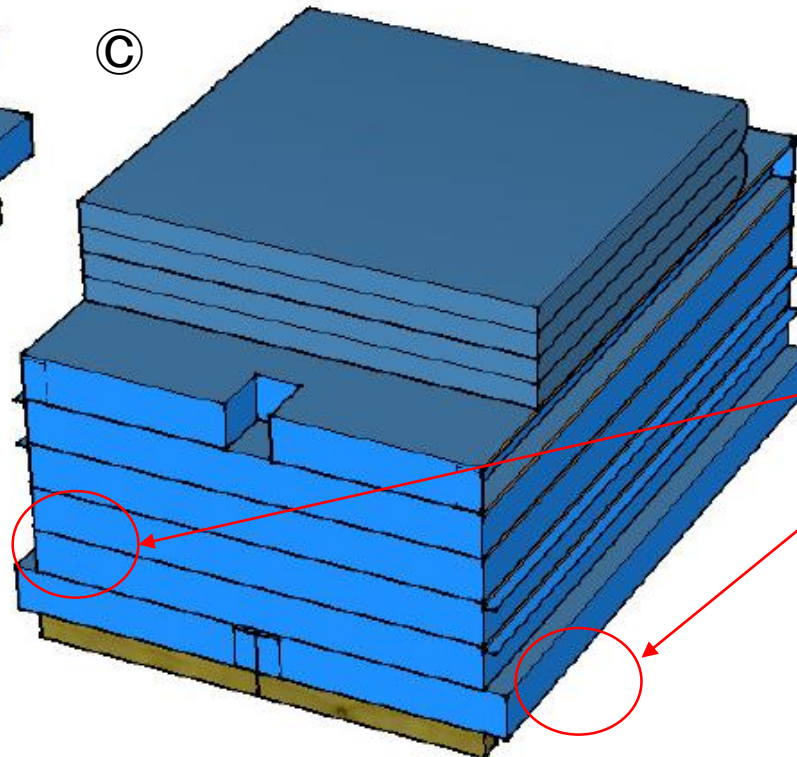
鉄棒詳細



鉄棒

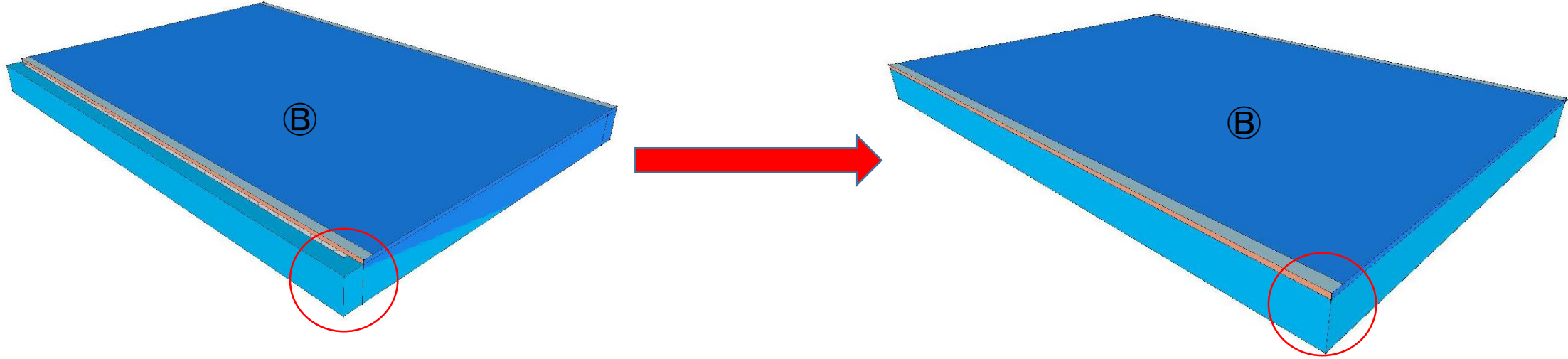


※オーバーマットは取付けたまま収納になります。



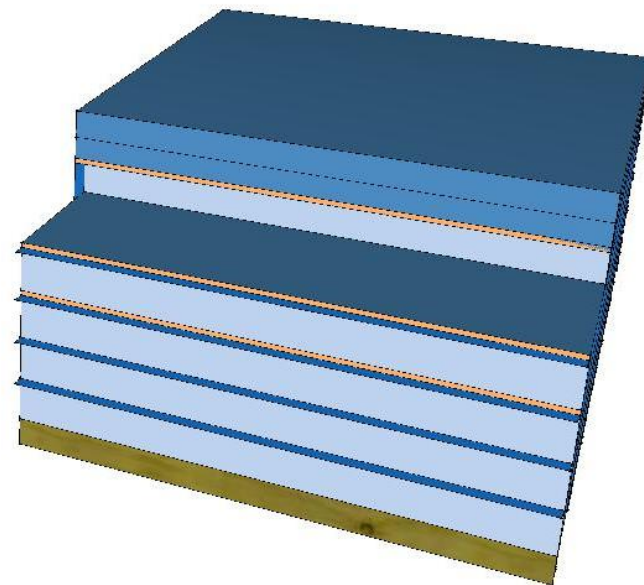
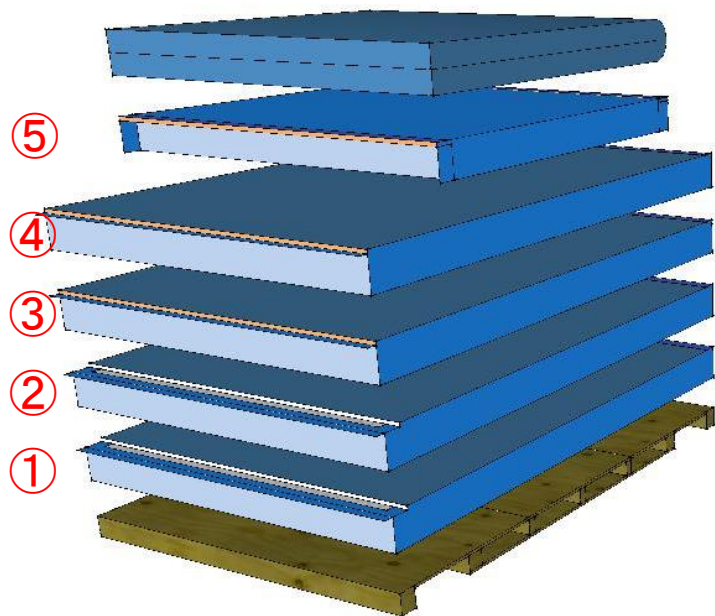
※最下部のマットは2枚合わせると幅が2200になります。パレット幅は2000なので、両側に100程度はみ出しておいてください。

この作業はBの2000×3000の4枚が対象です。



※上記○部分のように、割付の都合上、解体した着地マットはオーバーマットとアンダーマットが100mmずれています。

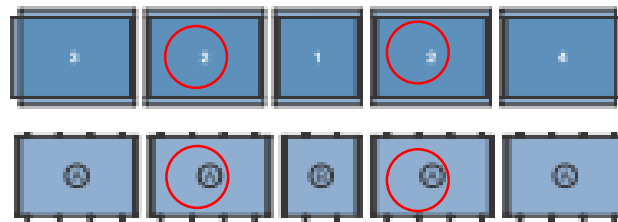
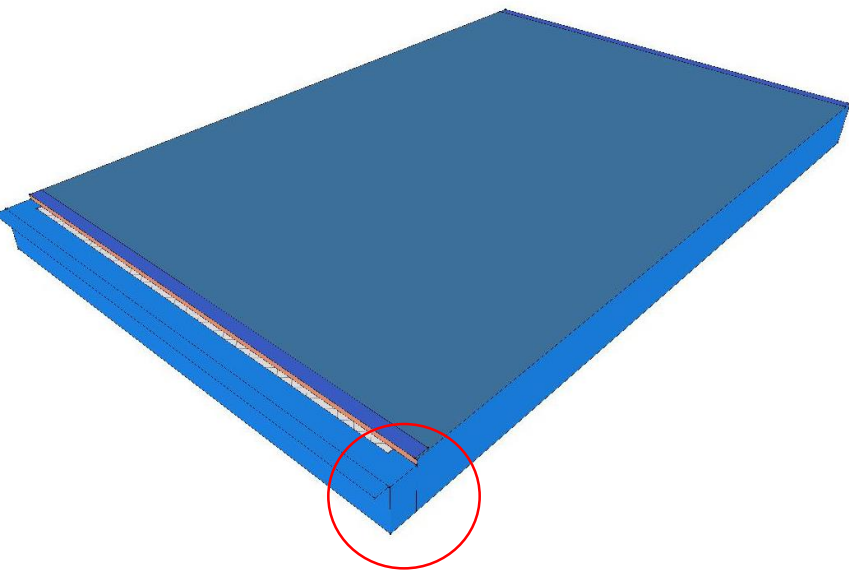
※パレットに積込前に必ず、上記のようにオーバーマットをずらしてアンダーマットと角を合わせてから収納してください。



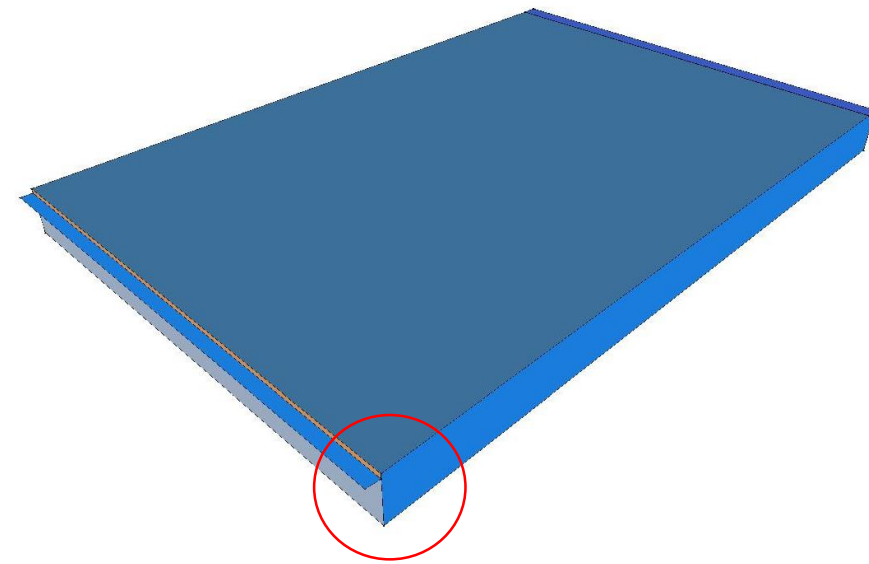
順に積込後、最後ピタリマット(2×4)を載せて完了です。

段違い平行棒着地マット収納時の注意点

この作業は○の2000×3000の2枚が対象です。



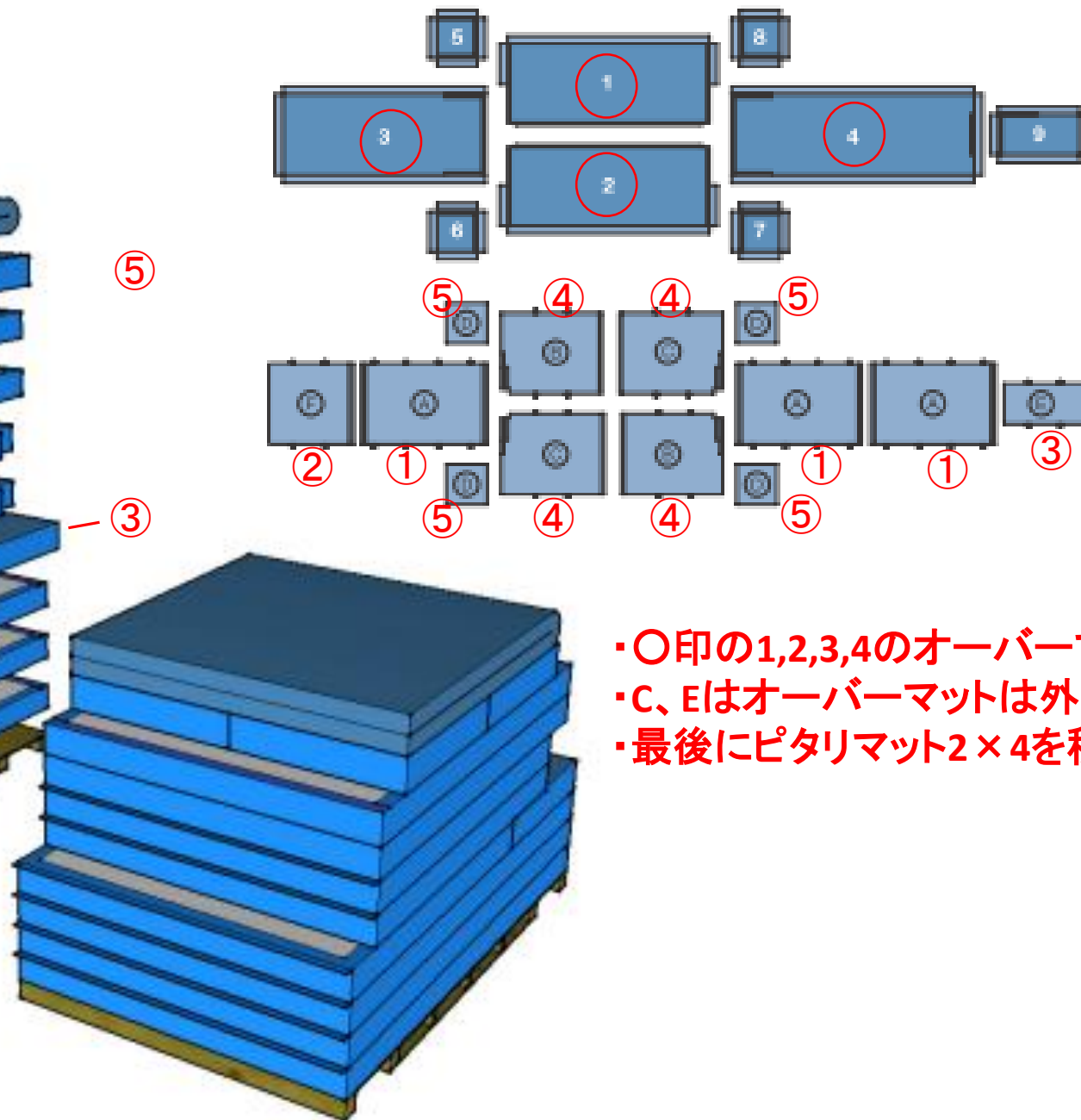
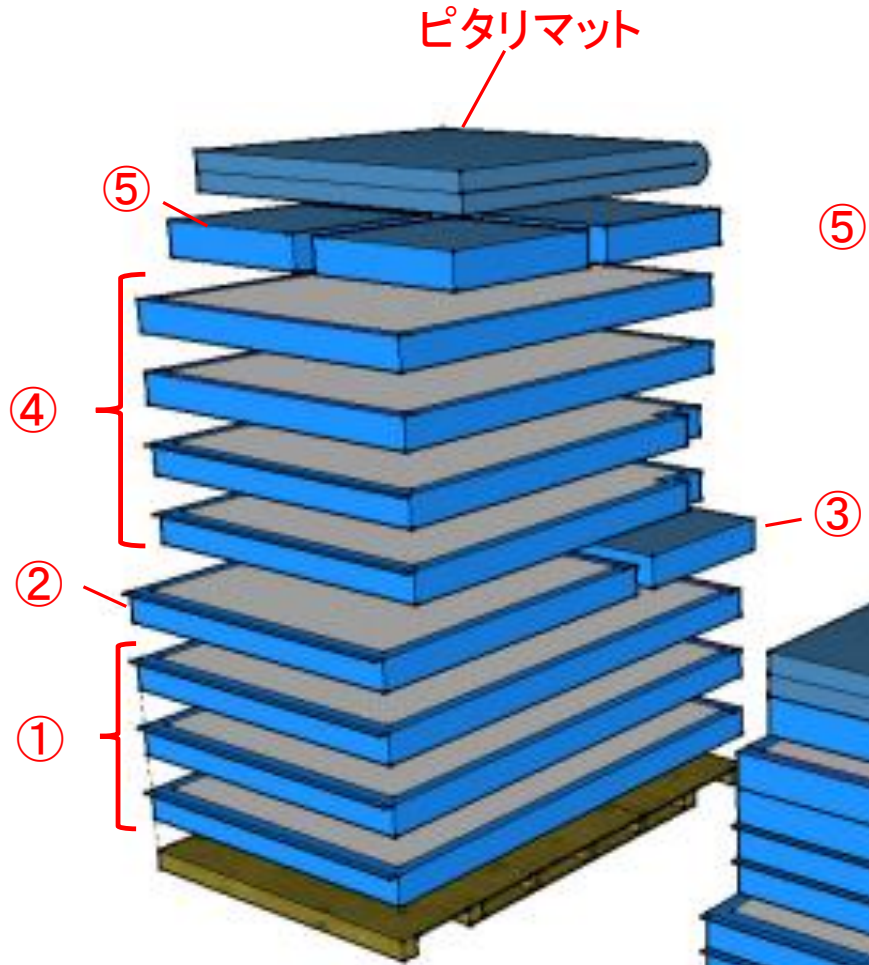
段違い平行棒2-2



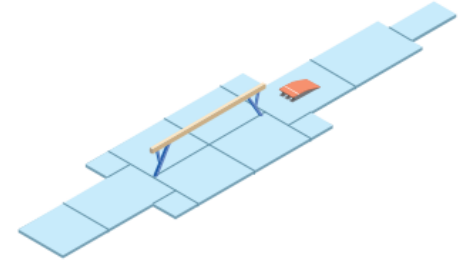
※上記○部分のように、割付の都合上、解体した着地マットはオーバーマットとアンダーマットが100mmずれています。

※パレットに積込前に必ず、上記のようにオーバーマットをずらしてアンダーマットと角を合わせてから収納してください。

平均台詳細

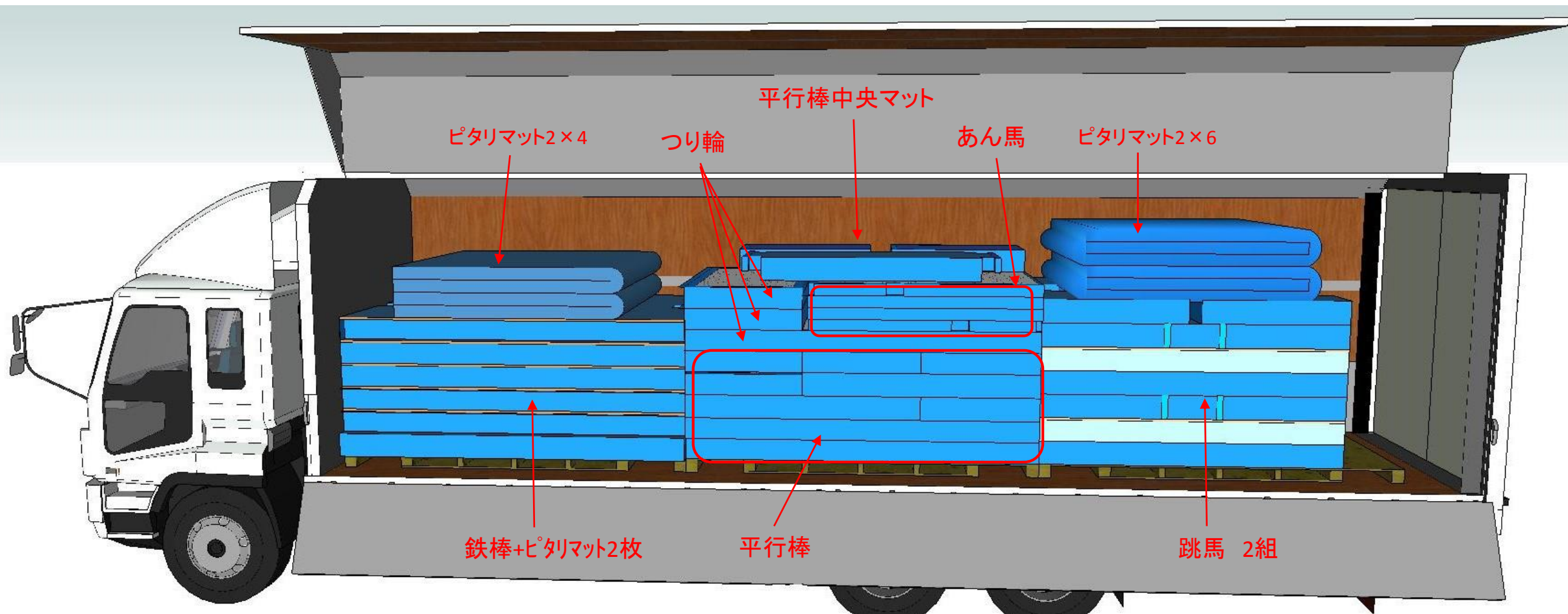


平均台



- ・○印の1,2,3,4のオーバーマットは心棒に巻取(4本)
- ・C、Eはオーバーマットは外さず収納
- ・最後にピタリマット2×4を積みます。

10t積込例2-1



10t積込例2-2

